

令和 4 年度 文化財防災訓練等

実施状況報告

都道府県名

茨城県

行事名称

第 69 回文化財防火デー

実施期間・日時

令和 5 年 1 月 29 日（日）9:00~10:00

実施場所

鹿島神宮境内
（茨城県鹿嶋市大字宮中 2 3 0 6 - 1）

主催者

鹿嶋市，鹿嶋市教育委員会，鹿嶋消防署，鹿嶋市消防団，鹿島神宮，鹿嶋市文化財愛護協会

■実施内容

訓練の想定

鹿島神宮境内の楼門南側樹叢より火災発生，鹿島神宮自衛消防隊は参拝者の避難誘導をするとともに初期消火を開始するが，異常乾燥のために延焼拡大となり，重要文化財の建造物等が類焼の危険にさらされる。

訓練の内容

鹿島神宮自衛消防隊による火災発見，通報，消防署長・消防団長への指揮権交代，放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

鹿島神宮	通報・参拝者の誘導・負傷者搬送・放水銃による初期消火訓練・講評
市消防団	消防車両による放水訓練
市消防署	消防団への指導・消防車両による放水訓練・講評
市交通防災課	消防団・消防署への連絡調整
市教育委員会	鹿島神宮及び交通防災課との連絡調整・実施要項の作成・写真，動画記録

特に工夫した点

鹿島神宮自衛消防隊では事前に動画等で防火対策について学んだ。消防団員は開始 30 分前に集合し，消防署員から事前に放水の仕方の説明を受けて訓練に臨んだ。

問題点・課題

鹿島神宮の消火設備の老朽化が課題であり，文化庁の防火ガイドラインに沿った見直しを検討している。

その他

コロナ禍により 3 年ぶりの開催となったが，文化財防火デーの訓練は，境内に設置されている放水銃の使い方や，火災が起こった際の所有者・市・地元消防団・消防署間のお互いの連携を確認する機会である。

訓練風景

